

## 「株主ご優待制度」のご案内

当社では株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社開発商品をお使いいただくことにより株主様とのコミュニケーションを図り会社経営に理解を深めていただき、当社株式への投資の魅力を高め中長期的に当社株式を保有していただける株主様を増やすことを目的とし、株主ご優待制度をご用意しております。

1. 対象株主  
毎年2月末日現在の当社株主名簿に記載又は記録された1単元(100株)以上保有の株主様が対象となります。

2. 「株主ご優待 商品券」の贈呈  
ユニグループ商品券を「株主ご優待 商品券」として、毎年期末の報告書に同封して贈呈いたします。

ご所有株式数	贈呈額
100株以上	ユニグループ商品券 1,000円分 (1,000円券×1枚)
1,000株以上	ユニグループ商品券 3,000円分 (1,000円券×3枚)



ユニグループ商品券は、以下のユニグループ各社の店舗でご利用いただけます。  
●ユニ株式会社 (アピタ・ピアゴ・ユーホーム・夢屋書店<一部店舗でご利用不可のため、ご精算前にご確認ください。>)

●株式会社サークルKサンクス (サークルK、サンクス) ●株式会社パレモ  
●株式会社モリエ ●株式会社サンリフォーム ●株式会社99イチバ  
●株式会社ユニフード ●株式会社さが美  
※ユニグループ商品券は、アピタ・ピアゴの専門店でもご利用いただけます。但し、一部ご利用いただけない専門店がございますので、ご精算前にご確認ください。  
上記各店の詳細は、<http://www.unygroup-hds.com>よりご確認ください。

3. 「株主ご優待 当社開発商品」との交換  
「株主ご優待 商品券」は、同額相当分の当社開発商品「スタイルワン」「プライムワン」を詰め合わせた「株主ご優待 当社開発商品」と交換することができます。

「株主ご優待 当社開発商品」との交換予定

ご所有株式数	100株以上	1,000株以上	予 定
ユニグループ商品券発送	1,000円分	3,000円分	毎年期末の報告書の発送時
当社開発商品との交換お申込期限	↓	↓	毎年期末の報告書の発送時にご案内
当社開発商品発送	1,000円相当分	3,000円相当分	

※ユニグループ各店舗において、「株主ご優待 商品券」と「株主ご優待 当社開発商品」との交換はできませんので、ご了承ください。

## 株 主 メ モ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで  
定時株主総会 毎年5月  
基準日 定時株主総会 毎年2月末日  
期末配当金 毎年2月末日  
中間配当金 毎年8月末日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定める日

公告方法 電子公告により行います。  
<http://www.unygroup-hds.com/koukoku/index.html>  
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

上場証券取引所 東京・名古屋(国内市場)

【株主に関する住所変更等のお届出およびご照会について】  
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
事務取扱場所 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
(郵便物送付先) ☎ 0120-782-031  
(電話照会先) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>  
(インターネットホームページURL)

【特別口座について】  
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といたします。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【単元未満株式の買取・買増請求について】  
単元未満(1~99株)株式をご所有の株主様は、当社に対してその単元未満株式の買取(ご売却)または、「その単元未満株式数とあわせて1単元(100株)となる株式数」の買増(ご購入)を請求することが可能です。  
お手続きの詳細につきましては、  
・証券会社に口座をお持ちの株主様の場合は、お取引のある証券会社にお問合せください。  
・証券会社に口座を開設されていない株主様の場合は、上記の株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関にお問合せください。

## 株主の皆さまへ

# 第43期 報告書

平成25年2月21日から平成26年2月28日まで



毎日が、  
あなたの日。



環境に配慮した  
植物油インキを  
使用しています。

ユニグループ・ホールディングス株式会社  
ホームページ <http://www.unygroup-hds.com>  
〒492-8680 愛知県稲沢市天池五反田町1番地  
TEL (0587) 24-8000 (代表)



ユニグループ・ホールディングス株式会社

証券コード 8270

(平成25年2月21日～平成26年5月22日)



代表取締役会長 前村 哲路

株主の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第43期決算（平成25年2月21日から平成26年2月28日まで）のご報告をするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

さて、日本経済は、政府による経済政策により円安・株高が進み、景気回復への明るい兆しが見え始めておりますが、輸入燃料、原材料価格の上昇や新興国の成長鈍化など依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループが属する小売業界におきましても、株価上昇や景気回復への期待感による消費意欲の高まりは見られましたが、雇用環境や個人の所得は低迷したままであり、個人消費全般を押し上げるまでには至りませんでした。加えて、同業他社や他業態との競争激化など、引き続き厳しい状況が続きました。

このようななか、当社グループは、平成25年2月21日に総合小売業とコンビニエンスストア事業を中心としたグループ体制の強化及びグループ全体の企業価値の最大化を図るため、純粋持株会社体制に移行し、純粋持株会社設立の目的である「グループシナジーの最大化」「グループの方向性の明確化」「グループ経営資源の最適配分」を実現することにより、グループ企業価値の益々の向上に努めております。当期におきましては、ユニーグループ共通のプライベートブランド「Style ONE」「Prime

ONE」のブランド力向上を目指し、女性ならではのきめ細かな視点での商品開発を行うため、女性従業員約260名で組織化した「スタイルワン研究所」を立ち上げ、更に、商品開発の更なる強化とスピードアップを目的として商品開発専用の「マーケティングルーム」を開設しました。また、配送効率・物流改革による商品競争力の向上を目指し、ユニーグループ共同物流の拠点となる「ユニーグループマザーセンター」を稼動しました。

ユニー株式会社においては、「お客様のより良い生活実現のために奉仕する」ことをお客様に対する変わることのない理念として、また、企業ビジョンの「新生活創造小売業」の実現に向け、各出店地域においてお客様から信頼される小売業を目指して、様々な取り組みを展開しました。GMS（総合小売業）業態のアピタは、「日常生活向上店」として、生活解決、生活提案に力を入れました。SM（スーパーマーケット）業態のピアゴは、「日常生活便利店」として、生活コスト引き下げに力を入れ、毎日楽しくお買物ができる、身近で心地の良い店舗を目標としてきました。また、お客様の利便性向上を目的として、ユニーグループの電子マネー「uniko（ユニコ）カード」を利用開始しました。ホールディングス誕生記念企画として、総額2億円をお客様へ還元する「プレミアムお買物券付ユニーグループ商品券」の販売など、年間を通じて様々な営業活動を展開しました。また、既存店売上高につきましては、特に食品において、PB商品の拡販及びUCSカード会員対象企画の販促策の寄与などにより好調に推移しました。

株式会社サークルKサンクスは、女性層やシニア層をはじめとした客層の拡大を目指し、アイランドチルドケースや冷凍平台ケースの導入を進め、既存店のミニスーパー化を図りました。株式会社さが美は、40周年特別企画の優良顧客向け展示販売会や例年開催の宿泊総合展示販売会が大変好評でした。株式会社パレモは、郊外主力事業のマーチャンダイジング強化ならびに、独自の商品企画開発の強化を背景とした直接貿易の拡大等により、収益性の向上に取り組みしました。株式会社UCSは、カード事業の包括信用購入あっせんにおいて、個人消費の持ち直しやグループ営業企画等が好調に推移し、取扱高が大幅に増加しました。

グループ連結は、営業収益は増加しましたが、前年同期に特別利益として株式会社サークルKサンクスの負のれん発生益を計上したこと等により、減益を余儀なくされました。なお、当期の期末配当につきましては、期初予想通りの1株につき12円とさせていただきます。

株主の皆さまには、引き続き一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年5月

平成25年

2月21日

- 純粋持株会社 ユニーグループ・ホールディングス株式会社の発足

6月

- アサヒビール株式会社と共同開発した「アサヒクラシックプレミアム」の発売



9月

- 米飯・惣菜等の製造および配送を手がける株式会社ナガイをM&Aにより完全子会社化



- マーケティングルームの開設

5月に女性従業員約260名で立ち上げた「スタイルワン研究所」も「マーケティングルーム」を活用して、既存商品や試作品の試食・試用を実施し、女性ならではのきめ細かい視点での商品開発を推進



- 「Style ONE」「Prime ONE」の食料品パッケージのデザイン一新

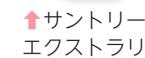


10月

- 「ユニーグループマザーセンター」の稼動
- コストの低減を目指し「Style ONE」「Prime ONE」の一部商品において、全国32ヶ所にあるユニー株式会社および株式会社サークルKサンクスの物流センターまでの配送ラインを一本化



- サントリー酒類株式会社とタイアップした「サントリーエクストラリッチ」の発売



11月

- ユニーグループ電子マネー「uniko（ユニコ）」誕生



unikoカード

平成26年

1月

- 鶏肉の生産・加工・販売を手がけるタッキーフーズ株式会社に資本参加しグループ化



2月

- 純粋持株会社 ユニーグループ・ホールディングス株式会社誕生1周年記念開発商品「Prime ONE こだわりの贅沢」シリーズの発売



5月22日

- 2名の独立社外取締役就任
- 経営の透明性の確保およびコーポレート・ガバナンスの一層の強化を図るため独立性のある2名の社外取締役が就任

- 執行役員制度の導入および女性執行役員の誕生
- 持株会社としての管理・監督機能と方針決定された目標の執行機能を明確化するため執行役員制度を導入するとともに女性執行役員が誕生

- 「株主ご優待 商品券」の贈呈
- 平成26年2月28日現在の当社株主名簿に記載又は記録された1単元（100株）以上保有の株主様を対象とし、ユニーグループ商品券を「株主ご優待 商品券」として贈呈

\*「株主ご優待制度」のご案内は、末尾をご参照願います。

# 営業の概況 (連結)

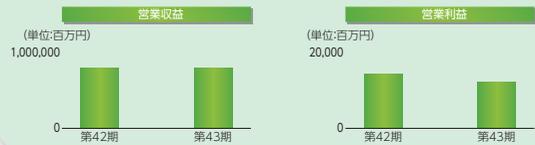
## セグメント別の業績の動向

### 【総合小売業】

衣料品、住居関連品、食料品等の小売業

営業収益 **7,999億4百万円** (前年同期比 +1.0%)  
 営業利益 **122億35百万円** (前年同期比 -14.1%)

総合小売業は営業収益7,999億4百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益122億35百万円(前年同期比14.1%減)となりました。当セグメントの営業費用は、「ローコスト経営」の継続に努めましたが、電気代の値上げ等による光熱費の増加や販売費の増加などにより、7,876億69百万円(前年同期比1.3%増)となりました。

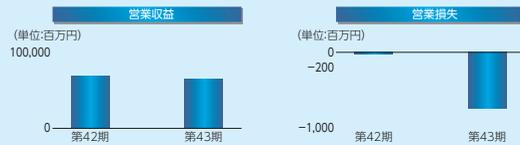


### 【専門店】

呉服、婦人服等の専門小売業

営業収益 **644億55百万円** (前年同期比 -6.6%)  
 営業損失 **7億4百万円** (前年同期は営業損失23百万円)

専門店の営業収益は644億55百万円(前年同期比6.6%減)、営業損失は7億4百万円(前年同期は営業損失23百万円)となりました。



### 【コンビニエンスストア】

フランチャイズシステムを主とするコンビニエンスストア7業

営業収益 **1,485億5百万円** (前年同期比 -3.8%)  
 営業利益 **94億56百万円** (前年同期比 -43.5%)

コンビニエンスストアは営業収益1,485億5百万円(前年同期比3.8%減)、営業利益94億56百万円(前年同期比43.5%減)となりました。

当セグメントの営業費用は、自営店関連経費を中心に削減に取り組みましたが、既設店の政策的なリニューアル費用等の増加により、1,390億48百万円(前年同期比1.0%増)となりました。



### 【金融】

クレジットの取扱業務・保険代理業・リース取引

営業収益 **173億1百万円** (前年同期比 +3.4%)  
 営業利益 **37億48百万円** (前年同期比 +15.9%)

金融の営業収益は173億1百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益37億48百万円(前年同期比15.9%増)となりました。

当セグメントの営業費用は、与信管理と債権管理の強化により貸倒損失は減少しましたが、包括信用購入あっせん取扱高の好調によるポイント費用等の増加により、135億52百万円(前年同期比0.5%増)となりました。



※当社は、平成25年5月16日の第42回定時株主総会の決議により、事業年度を従来から2月20日から2月末日に変更いたしました。これにより、当第43期事業年度が平成25年2月21日から平成26年2月28日までの1年8日間となったため、前年同期比の表記は当連結会計年度の12ヶ月8日間と、前連結会計年度の12ヶ月間を比較した参考値として記載しております。

# 財務諸表 (連結)

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当連結会計年度 平成26年2月28日現在	前連結会計年度 平成25年2月20日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	278,252	200,662
固定資産	671,914	631,659
有形固定資産	487,116	450,386
無形固定資産	28,241	28,342
投資その他の資産	156,556	152,929
<b>資産合計</b>	<b>950,166</b>	<b>832,321</b>
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	428,729	304,349
固定負債	215,661	223,617
<b>負債合計</b>	<b>644,390</b>	<b>527,967</b>
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	292,732	292,881
資本金	22,187	22,187
資本剰余金	70,883	70,883
利益剰余金	202,676	201,068
自己株式	△3,015	△1,258
その他の包括利益累計額	4,345	1,849
その他有価証券評価差額金	5,156	3,238
繰延ヘッジ損益	55	303
土地再評価差額金	△304	△304
為替換算調整勘定	△562	△1,387
少数株主持分	8,698	9,623
<b>純資産合計</b>	<b>305,776</b>	<b>304,354</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>950,166</b>	<b>832,321</b>

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	当連結会計年度 自平成25年2月21日 至平成26年2月28日	前連結会計年度 自平成24年2月21日 至平成25年2月20日
売上高	863,879	858,915
売上原価	636,114	630,645
<b>売上総利益</b>	<b>227,765</b>	<b>228,270</b>
営業収入	168,246	171,343
<b>営業総利益</b>	<b>396,012</b>	<b>399,613</b>
販売費及び一般管理費	370,683	364,593
<b>営業利益</b>	<b>25,328</b>	<b>35,020</b>
営業外収益	3,998	3,497
営業外費用	4,260	5,094
<b>経常利益</b>	<b>25,066</b>	<b>33,423</b>
特別利益	1,520	19,823
特別損失	10,608	9,745
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>15,978</b>	<b>43,501</b>
法人税、住民税及び事業税	8,710	8,739
法人税等調整額	661	3,919
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>6,607</b>	<b>30,842</b>
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△833	371
<b>当期純利益</b>	<b>7,440</b>	<b>30,471</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当連結会計年度 自平成25年2月21日 至平成26年2月28日	前連結会計年度 自平成24年2月21日 至平成25年2月20日
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,385	37,032
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,523	△107,341
財務活動によるキャッシュ・フロー	71,714	△63,056
現金及び現金同等物に係る換算差額	824	165
現金及び現金同等物の増減額	47,400	△133,199
現金及び現金同等物の期首残高	7,075	140,357
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△82
現金及び現金同等物の期末残高	54,476	7,075

(注) 記載金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

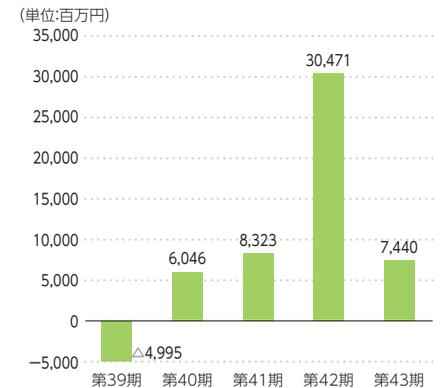
## 営業収益



## 経常利益



## 当期純利益



ユニー(株)は「環境にやさしいお買い物」で「Fun to Share」

ユニー(株)は環境省の展開する、気候変動問題を「みんなでシェアして低炭素社会へ。」「Fun to Share」に賛同し、お客様と一緒に「お買い物を通して地球環境に貢献することを宣言しました。

「エコ・ファースト」企業として、全店でのレジ袋無料配布中止を2014年2月20日から開始し、また電気自動車やプラグインハイブリッド車での来店を促すため充電スタンドの設置を進めるなど、お客様のライフスタイルをCO2を出さない低炭素型にしたいと大きく努力しています。



ユニー(株)佐古社長と石原環境大臣

ユニー(株) 小売業で初めて「愛知環境賞 銀賞受賞」

ユニー(株)は店舗所在地の1府18県下(福島県を除く)で、店舗から排出される食品残さのリサイクルループを完成させ、業界最多の15件が農林水産大臣・経済産業大臣・環境大臣から認定されています。この食品廃棄物の地域循環の取り組みが評価され、愛知環境賞の銀賞を受賞しました。小売業では初めての受賞でした。



表彰状



ユニー(株)佐古社長(写真中央)と大村知事(写真右)

ユニー(株) リデザインプロジェクトで環境省 グッドライフアワード 特別賞受賞

この活動は、愛知県尾張地方の繊維関連事業者から、不要な生地を提供していただきリサイクルし、デザインを学ぶ学生のコンテストで選ばれた作品を、身障者や知的障がい者が製作して、アピタの店舗で販売する活動です。

資源循環、若者の才能発掘、障がい者雇用促進を支援する活動です。



グッドライフアワード表彰式

ユニーグループ・ホールディングス(株) 環境レポート発行

2013年度版の環境レポートを、ユニーグループ・ホールディングス(株)で発行しました。ユニーグループ・ホールディングス(株)の情報だけではなく、ユニー(株)、(株)サークルKサンクスを中心に、グループ各社の環境社会貢献に関する情報を開示する内容です。



ユニーグループ・ホールディングス(株) 環境レポート2013

ユニーグループ・ホールディングス(株) メッセなごやにユニー(株)とサークルKサンクス共同出展

ESD(持続可能な開発のための教育)をテーマに2013年11月13日~16日の4日間、名古屋市で開催された「メッセなごや」にユニーグループ・ホールディングス(株)として、ユニー(株)と(株)サークルKサンクスが共同でブースを出展しました。

限りある資源を大切に、次世代に美しい自然を残すことを目指した「環境教育」を、パネル展示とエコ工作で来場者に体感していただきました。



名古屋市国際展示場ポートメッセなごやに共同出展

ユニー(株) 在庫ランドセルをフィリピンの台風被災地の子どもたちにプレゼント

ユニー(株)は2013年11月に発生した台風30号の被害で5,000人以上が亡くなるという甚大な被害を被った、フィリピンのレイテ島、サマル島の子どもたちに、ランドセル2,492個をプレゼントしました。

ユニー(株)の大野取締役が、集まった子どもたちや保護者に、台風被害のお見舞いと激励の挨拶をしました。一人ひとりに手渡すと、徒歩で5時間もかけてやって来た子どもたちは目を輝かせて喜んでいました。



百瀬グループ環境社会貢献部長(写真左)とユニー(株)大野取締役(写真右)



ランドセルを受け取り喜ぶ子どもたち

会社の概要 (平成26年2月28日現在)

社名	ユニーグループ・ホールディングス株式会社
本店所在地	〒492-8680 愛知県稲沢市天池五反田町1番地 TEL (0587) 24-8000 (代表)
設立	昭和25年3月13日
資本金	22,187,865,810円
従業員数	36,700名(連結) (パートタイマー等の期中平均特勤者数を含む)
事業内容	総合小売業、コンビニエンスストア、都市型ミニスーパー、専門店、金融サービス、サービス、ディベロッパーなど各事業を中心とした企業グループの運営企画・管理(純粋持株会社)

役員 (平成26年5月22日現在)

前村 哲路	代表取締役会長最高経営責任者 (CEO)
中村 元彦	代表取締役社長最高執行責任者 (COO)
越田 次郎	取締役専務執行役員最高財務責任者 (CFO)
梅本 稔	取締役執行役員
高橋 順	取締役執行役員
伊藤 聡	取締役執行役員
佐古 則男	取締役
竹内 修一	取締役
古角 保	取締役
加藤 倫朗	取締役
佐伯 卓	取締役
吉田 龍美	常勤監査役
伊藤 章	常勤監査役
丹下 幾夫	監査役
南谷 直毅	監査役

(注) 1. 取締役古角保、加藤倫朗、佐伯卓の3氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
2. 監査役丹下幾夫、南谷直毅の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。  
3. 当社は、取締役加藤倫朗、佐伯卓および監査役丹下幾夫、南谷直毅の4氏を東京証券取引所および名古屋証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。

執行役員

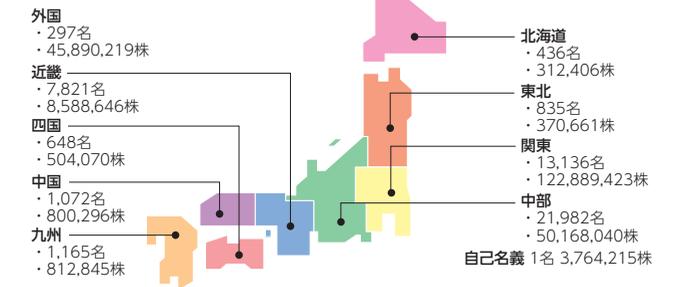
百瀬 則子 岩田 正也 中村 敏雄

株式の状況 (平成26年2月28日現在)

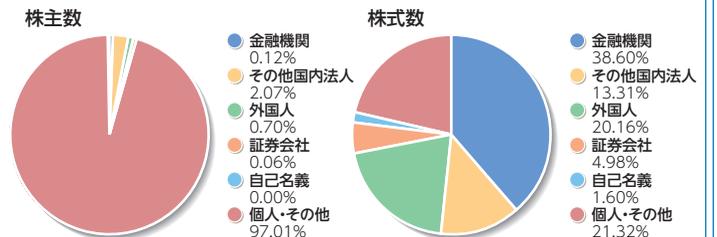
■株式の総数	
発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式の総数	234,100,821株
株主数	47,393名
■大株主 (単位:千株)	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	22,447
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,893
日本生命保険相互会社	7,657
伊藤忠商事株式会社	6,992
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,074
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5,403
第一生命保険株式会社	5,000
ユニー第二共栄会	4,438
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	4,066
BNPパリバ証券株式会社	3,525

(注) 当社は、自己株式3,764,215株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。

地域別分布状況



所有者別分布状況



(注) 構成比率は、小数点第3位以下を切り捨てております。